



第38回

全国高校生の手話による スピーチコンテスト

手話の普及とボランティア活動推進のために

Speech Contest

演題
テーマ

「私の好きな言葉」
「私が社会に発信したいこと」

2021 Speech Contest

主 催 ● 全日本ろうあ連盟、朝日新聞厚生文化事業団、朝日新聞社
後 援 ● 厚生労働省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団、
日本手話通訳士協会、全国聾学校長会
協 力 ● 東京都聴覚障害者連盟
協 賛 ● NEC

全国高校生の手話による スピーチコンテスト

手話の普及とボランティア活動推進のために

Speech Contest 2021

Greeting

ごあいさつ

このたび、新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

第38回となる「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、出場者および関係者の皆さまの安全確保を最優先に鑑み、大変残念ではありますが、開催方法を変更しました。

最終審査は有楽町朝日ホールでの開催に代わって、出場者10人の高校生の皆さまから事前にご提出をいただいた映像で最終審査を行い、入賞者5人を選出いたしました。今回の変更にともない、ご理解ご協力をいただきました皆さまに深く御礼申し上げます。

今年は「私の好きな言葉」「私が社会に発信したいこと」というテーマで募集をし、全国から95人の応募がありました。未だ先が見えにくい社会情勢の中でも、しっかりと前を見据え、社会に向けた一人ひとりの主張が寄せられました。このような状況下においても思いを届けてくださったすべての高校生、そしてサポートいただきました学校関係者・保護者の皆さま、誠にありがとうございました。

5人の入賞者を含め、最終審査に進出された10人のスピーチの一部は、ダイジェスト版として動画配信をさせていただく予定です。ぜひ、多くの方々にご覧いただきたく思っております。

私ども主催団体としましても、困難な状況だからこそ、歩みをとめず、力を合わせる方法を探求する生徒たちを応援し、その思いを今後も広く届けてまいりたいと考えています。そして、一人でも多くの方が、手話というコミュニケーションのすばらしさに触れていただくきっかけとなることを願っております。

最後になりましたが、ご後援・ご協力、ご協賛をいただいております関係者の皆さまには、今年も多大なご尽力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

今後とも変わらぬご理解・ご協力を賜りますよう引き続きよろしくお願い申し上げます。

全日本ろうあ連盟
朝日新聞厚生文化事業団
朝日新聞社

「困難を乗り越えていく力に」

社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団

理事長 藤井 龍也

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、及び関係者の方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、医療従事者をはじめ最前線でご尽力されている皆さまに敬意を表し感謝を申し上げます。

「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」は手話の普及とボランティア活動、福祉教育の推進を目的として1984年に始まり、今年で第38回を迎えました。新型コロナウイルスをめぐっては、感染力の強い変異株の出現や、全国的な感染者数の増加などによる医療体制のひっ迫など、未だに先が見えない状況が続いております。

このような状況だからこそ、「手話を学び、拓げる学生の思いを応援したい」という思いから、今年度は従来とは形を変えて開催をいたしました。本来であれば、原稿審査・映像審査を経て選ばれた高校生に会場にお集まりいただくところでございますが、参加者や関係者の皆さまの安全確保を最優先に考えまして、大変残念ではございますが、会場での開催を中止し、映像での審査を行いました。

全国から寄せられた95人の応募内容は、いずれも熱意や情熱に溢れたものでした。弁論原稿では、様々な困難に直面しながらも、それらを乗り越えた経験、将来への思い、また、人を大事に思うことの尊さに触れるものなど、多岐にわたり、若い皆さまの真摯で前向きな姿がとても印象的でした。

最終審査では、10人の皆さまが主張を手話で表現されました。その結果、このたび5人の入賞者が決定いたしました。入賞者の皆さま、誠におめでとうございます。

今回コンテストに応募いただいた皆さまにおいては、この経験が、これからの社会や人生で起こる困難を、確実に乗り越えていく力になることを期待しています。

最後になりましたが、このコンテストの開催にあたり、ご尽力いただいた審査員の皆さま、ご後援、ご協力をいただきました厚生労働省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団、日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、東京都聴覚障害者連盟、また長年にわたりご協賛いただいておりますNECの皆さまに、謹んで御礼を申し上げます。

「自分らしさを糧に」

一般財団法人 全日本ろうあ連盟

理事長 石野 富志三郎

「第38回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」が、多くの方々のご尽力により開催されることを心から嬉しく思います。

新型コロナウイルス感染症拡大が未だ収束の兆しを見せず、今年も有楽町朝日ホールでのコンテスト開催を取りやめとしました。出場者の皆さんも、練習の機会が限られてしまうなど、たくさんの苦労があったと思います。そのような中でも、本コンテストに出場するための努力を重ねてこられた皆さんに、心から敬意を表します。

今年のテーマは「私の好きな言葉」「私が社会に発信したいこと」です。好きな言葉や信念を見つけることは、「自分らしさ」を持って生きていくために必要不可欠なものです。たとえ、苦しいことやつらいことがあったときでも、自分が信じられるものがあれば、乗り越えられる場面があると思います。

また、「自分らしさ」は最初からはっきりとしたものではなく、いろいろな経験をし、自分や他者と対話する中で、少しずつ形作られていくものです。今年のコンテストでも、皆さん一人ひとりの歩んできた道や、それによって築かれてきた個性が豊かに表れていました。

全日本ろうあ連盟は、約70年前から、ろう者の当事者団体として、ろう者が社会で自分らしく生きるために必要な制度を求め、本コンテストをはじめとし、ろう者や手話言語への理解の促進を行ってきました。社会がそれぞれの自分らしさを認めることで、近年は、きこえない・きこえにくいこと、また手話言語を用いることが、特別なことではなく、一つの在り方として受け入れられる環境が実現しつつあります。

本コンテストで改めて、「ろう者にとって大切なものは、手話という言語である」ということを、私からも社会に発信したいと思います。

そして、手話言語を身につけ、自らの力としている皆さんは、これまでの私たちの運動をさらに拓げ、未来を切り拓いていく可能性を秘めており、一人ひとりが社会にとって必要な存在です。

ぜひ、皆さんが信じる言葉や信念を糧に、これからの時代を豊かにしていくために全力を尽くしてほしいと思います。

皆さんとともに作る共生社会の中で、誰もが生き生きと暮らすことができる未来を心待ちにしています。

第38回

Speech Contest

全国高校生の手話による スピーチコンテスト

演題
テーマ

「私の好きな言葉」
「私が社会に発信したいこと」

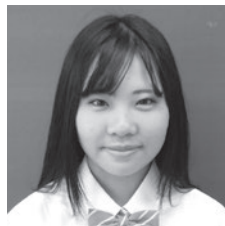
スピーチコンテスト 特別賞 受賞者



今の私達にできること

神奈川県・日本女子大学附属高等学校2年
松田 愛未(まつだ あいみ)

新型コロナウイルスの影響で私達の生活は大きく変わり、私はそんな生活に不満を感じていました。そのような時、医療従事者の両親からろうの患者さんが病院受診に大変な苦勞をされている話を聞きました。人は困難な状況に直面すると、自分しか見えなくなりがちです。しかし、このような時だからこそ、皆が他者に寄り添う心の余裕を持って、困っている人の手助けとなる行動を起こす必要性に気づいてもらいたいと思います。



私が社会に発信したいこと

福島県・東日本国際大学附属昌平高等学校3年
清水 詩(しみず うた)

あなたはいじめを経験したことはあるだろうか。皆さんも、いじめられた人のことを考えてほしい。私は小・中学生の時にいじめを受けた。いじめに耐えられず自殺しようとした時、母が助けてくれた。その後も家族が支えてくれたおかげで今の自分がある。私がいじめを受けて思ったことは、誰ひとりとしてひとりぼっちの人はいないということだ。必ず助けてくれる人はいる。勇気を出して助けを求めてほしい。苦しい時には苦しいと。



見つけてくれてありがとう

大阪府立北千里高等学校2年
森 健司(もり けんじ)

賞をもらったとき、「すごいね」と褒められても居心地が悪かった。それは今の自分ではなく、過去の自分へ向けられた褒め言葉だと思っていたからだ。そんなとき、ある先生が教えてくださった「見つけてくれてありがとう」という言葉が私のもやもやを取り除いてくれた。どこか見知らぬ誰かが、自分の良さに気付いてくれる。このことは私に自信を与え、挑戦の幅を広げてくれた。いつかは自分も誰かの良さを見つめられる人になりたい。



私の好きな言葉

愛媛県・済美高等学校3年
二神 優(ふたがみ ゆう)

「あなたはあなたで、あればいい」という言葉との出会いは、暗闇に一筋の光が差し込むように、私を悩みから救い出してくれました。誰もが多くの素敵なものを持ち合わせて生きていることに気づき、人と比べるまでもなく、そのままの自分で満点だ、という風に考えを変えられたのです。これからは、誰もがありのままの自分を愛せる環境づくりのために必要なことについて、自分らしく探究し、行動していきます。



伝えたいこと

福岡県立福岡高等聴覚特別支援学校3年
平嶋 萌宇(ひらしま もね)

出会いを通して学んだこと。それは、いつも支えてくれる家族や周りの人の存在の有難みと手話が持つ力の大きさです。支えてくださった人達のお陰で聞こえない自分に自信を持てるようになりました。今回の手話スピーチを通して、一人でも多くの方に手話が言語であることを知ってもらえたら嬉しいです。そして自分の障がい悩んでいる方の背中を押すきっかけになったら嬉しいです。

スピーチコンテストについて

このコンテストは、手話の普及とボランティア活動、福祉教育推進のために開催します。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催方法を変更し、原稿・映像による選考の結果、上記の5人へ特別賞をお贈りします。

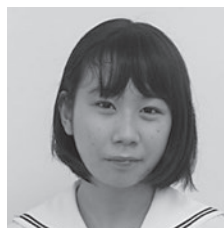
スピーチコンテスト 最終審査出場者



お互いのために 伝えたい三つのこと

埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園3年
徳永 小雪 (とくなが こゆき)

私は社会に発信したいことが三つあります。一つ目は私たちは聴者とのコミュニケーション方法に悩んでいるということです。二つ目は手話は楽しく、面白いということです。三つ目は情報保障の必要性についてです。聴者の皆さんにこの三つを知っていただけたら、とても嬉しいです。私も聴者の悩みを理解し、なくしたいです。私たちは理解し合うことで、お互いに自分の意見を言ったり、楽しい会話をしたりすることができるのです。



「見えない先に…」

愛知県・桜花学園高等学校3年
津田 愛心 (つだ まなみ)

直接会わずに誰とでも繋がることのできるインターネット。そこには、相手の人格を否定するような書き込みであふれ、時に人の命を奪うこともあります。しかし、私が壁にぶつかり悩んでいたときにSNSを通して恩師に相談をし、一歩踏み出す勇気をいただく幸運がありました。SNSは使い次第で変わるものです。発信した先には心を持った大切な存在がいることをいつも感じて発信してくれたらと願っています。



心ときめく和歌の魅力

長野県屋代高等学校3年
宮脇 瑞季 (みやわき みずき)

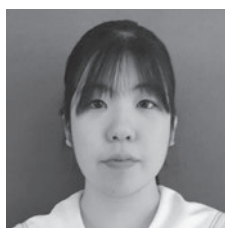
たくさんの魅力を持ち、受け継がれてきた和歌。しかし、多くの人和歌を難しいものと考えています。そこで私が社会に発信したいことは、「和歌の魅力」です。1つ目は、千年以上前の人と思いを共有することができる。2つ目は、技術力の高さ。3つ目は、音の綺麗さ。少ない文字数に気持ちが込められた和歌の奥深さを知った時、きっとあなたも心ときめきます。ぜひたくさんある和歌の魅力にあなたも触れてみませんか？



分からない

愛媛県立松山聾学校2年
永野 彩夏 (ながの あやか)

私には分からないことが、たくさんあります。私は発音が不明瞭だから私が言いたいことは相手になかなか伝わりませんし、聞こえづらいから相手の言っていることは分かりません。辛くて、しんどくて、悔しい思いを今までたくさんしてきました。もし、私の耳が聴こえたら、発音が良かったら、友達と楽しく話することができたでしょうか。先生の授業の内容を理解することができたでしょうか。私は皆に、分からないことを知ってほしい。



みえないかたち

大分県・楊志館高等学校3年
堤 奏乃香 (つつみ そのか)

私は、認知症の大叔父の支援をした経験から、当たり前とは何なのかについて考えるようになり、LGBTのレズビアンである友人が自身の性的指向についてカミングアウトしてくれた時のことを思い出しました。

今の日本社会では、全員が自分と価値観の異なる人を受け入れられておらず、差別や偏見が生まれています。この問題を解決するためにはLGBTなどと一括りにするのではなく、一人の人間として当事者たちと接していくことが大切だと思います。

●審査員

小椋 英子 (日本手話通訳士協会相談役／審査委員長)
山根 昭治 (全日本ろうあ連盟理事)
倉野 直紀 (全日本ろうあ連盟事務局次長・本部事務所長)
奥出 吉規 (厚生労働省障害保健福祉部企画課自立支援振興室長)
栗野 達人 (東京都聴覚障害者連盟会長)
板垣 哲也 (朝日新聞論説委員)

●コンテスト副賞

NEC タブレット LAVIE Tab E

ダイジェスト動画のご案内

今年は、最終審査(映像審査)で特別賞を受賞した5人を含め、最終審査に進出された10人全員のスピーチのダイジェスト動画を公開しています。ぜひ多くの方にお届けできればと思います。

※ダイジェスト動画は、朝日新聞厚生文化事業団ホームページ及びYouTubeにてご覧いただけます。



手話によるスピーチコンテストの歴代入賞者

(第1回～第15回は大学生の部も開催しましたが、スペースの関係上、受賞者の記載はありません)

1

<第1回>1984年8月28日 朝日ホール(朝日新聞東京本社)

- 第1位 中川悦子(滋賀県・滋賀女子高校3年)
- 第2位 小林真由美(埼玉県立越ヶ谷高校1年)
- 第3位 田中順子(東京都立永山高校3年)
- 第4位 高塚由布美(島根県立安来高校3年)
- 第5位 蝦名幸子(青森県立青森中央高校3年)

2

<第2回>1985年8月27日 朝日ホール(朝日新聞東京本社)

- 第1位 渡辺江身子(滋賀県立八幡高校3年)
- 第2位 星野正人(栃木県立鹿沼商工高校3年)
- 第3位 鎌田真奈美(秋田県立能代高校3年)
- 奨励賞 亀岡信子(和歌山県立橋本高校3年)
- 奨励賞 与那原直美(沖縄県立八重山高校2年)
- 奨励賞 天下淳子(広島県立佐伯高校3年)

3

<第3回>1986年8月20日 朝日ホール(朝日新聞東京本社)

- 第1位 浅沼陽子(群馬県立太田女子高校3年)
- 第2位 斎藤水樹子(東京都・普連土学園高校3年)
- 第3位 井戸益美(三重県立四日市商業高校3年)
- 奨励賞 小林恵子(鹿児島県立奄美高校1年)
- 奨励賞 秋元由美枝(岡山県立津山東高校3年)
- 奨励賞 飯島明美(東京都・鶴川高校3年)

4

<第4回>1987年8月25日 大阪SABホール

- 第1位 根間みどり(沖縄県立宮古農林高校3年)
- 第2位 野口純代(東京都立園芸高校3年)
- 第3位 小宮静(東京都・惠泉学園高校2年)
- 第3位 浅井真理子(北海道室蘭清水丘高校1年)
- 奨励賞 尾崎恵(熊本県立水産高校1年)
- 奨励賞 山口恵美子(富山県・富山女子短大付属高校3年)
- 奨励賞 北川智映子(岐阜県・岐阜第一女子高校3年)

5

<第5回>1988年8月28日 有楽町朝日ホール

- 第1位 佐々木恵美(山口県立小野田高校3年)
- 第2位 森利口純世(北海道千歳高校3年)
- 第3位 今在家紀子(滋賀県立八幡高校3年)
- 第3位 小林智子(山形県立天童高校3年)
- 奨励賞 矢古宇ゆかり(東京都立富士森高校3年)
- 奨励賞 山口由利子(愛媛県立内子高校2年)
- 奨励賞 西田由美(富山県・富山女子短大付属高校3年)

6

<第6回>1989年8月27日 名古屋・朝日ホール

- 第1位 高見千秋(福岡県・明光学園高校3年)
- 第2位 豊森映里(東京都立富士森高校3年)
- 第3位 林亜子(富山県・富山女子短大付属高校3年)
- 第3位 玉正晃子(大分県・桜丘高校2年)
- 奨励賞 川原崎史子(神奈川県・桐蔭学園高校2年)
- 奨励賞 熊谷美穂(長野県・田川高校3年)
- 奨励賞 関優子(神奈川県・足柄高校2年)

7

<第7回>1990年8月26日 福岡市・大博多ホール

- 第1位 福島倫美(和歌山県立橋本高校3年)
- 第2位 大田美和(東京都立富士森高校3年)
- 第3位 那須詠子(滋賀県立八幡高校3年)
- 第3位 麻生真理(熊本県立人吉高校2年)
- 奨励賞 田浦豊子(福岡県立田川高校3年)
- 奨励賞 坂本淳(大分県・桜丘高校3年)
- 奨励賞 野間忍(愛媛県立今治北高校3年)

8

<第8回>1991年8月25日 有楽町朝日ホール

- 第1位 早坂千草(山形県立楯岡高校2年)
- 第2位 伊藤美由紀(秋田県立湯沢北高校3年)
- 第3位 相原清美(神奈川県立綾瀬西高校3年)
- 奨励賞 細川ひとみ(和歌山県立橋本高校3年)
- 奨励賞 岩崎陽子(群馬県立中央高校3年)
- 奨励賞 瀬戸山裕美(宮崎県・日章学園高校3年)

9

<第9回>1992年8月30日 京都産業会館・シルクホール

- 第1位 森山亜子(東京都・跡見学園高校3年)
- 第2位 井上敏美(京都府・京都学園高校3年)
- 第3位 中川京子(福井県立勝山高校3年)
- 奨励賞 金丸望美(福岡県立福岡中央高校2年)
- 奨励賞 竹野由香(長崎県・聖和女子学院高校3年)
- 奨励賞 浜さおり(愛知県・安城学園高校3年)

10

<第10回>1993年8月29日 有楽町朝日ホール

- 第1位 坂本聖美(北海道・北星学園余市高校3年)
- 第2位 大野留美(福井県立大野東高校3年)
- 第3位 吉岡奈々(滋賀県立八幡高校3年)
- 奨励賞 桜井扶美(神奈川県・神奈川大学附属高校3年)
- 奨励賞 甲斐知美(福岡県立光陵高校2年)
- 奨励賞 佐藤由香(長野県中野高校3年)

11

<第11回>1994年8月26日 名古屋・電気文化会館

- 第1位 宮田奈央子(秋田県立湯沢北高校3年)
- 第2位 佐藤和恵(北海道・北星学園余市高校3年)
- 第3位 菊地里彩(東京都・淑徳学園高校3年)
- 奨励賞 谷崎美智子(徳島県立城北高校1年)
- 奨励賞 岩谷誠司(京都府立木津高校2年)
- 奨励賞 豊田和浩(愛知県立小坂井高校3年)

12

<第12回>1995年8月27日 有楽町朝日ホール

- 第1位 堀尾沙世(静岡県立三ヶ日高校2年)
- 第2位 藤田京子(京都府・日星高校3年)
- 第3位 山崎広未(福井県立三国高校3年)
- 第3位 山崎史(神奈川県・聖園女学院高校3年)
- 奨励賞 三宅恵子(岡山県立精研高校2年)
- 奨励賞 安部京子(大分県立高田高校3年)
- 奨励賞 芳賀友紀子(宮城県立県が浦高校2年)

13

<第13回>1996年8月25日 浜離宮朝日小ホール

- 第1位 上原多恵(香川県立高松高校3年)
- 第2位 藤本麻里(山口県立小野田高校3年)
- 第3位 森本奈央子(三重県立稻生高校3年)
- 奨励賞 木村愛子(山形県立山形北高校2年)
- 奨励賞 新津香代子(茨城県立水戸第三高校3年)
- 奨励賞 山口春香(長野県中野高校3年)

14

<第14回>1997年8月24日 有楽町朝日ホール

- 第1位 高田加奈子(熊本県・八代白百合学園高校3年)
- 第2位 小林信恵(愛知県・桜丘高校3年)
- 第3位 犬塚直志(埼玉県・早稲田大学本庄高等学院3年)
- 奨励賞 大滝志織(山形県立楯岡高校3年)
- 奨励賞 澤田友子(岐阜県立加茂高校2年)
- 奨励賞 藤本泰啓(山口県立小野田高校2年)
- 奨励賞 成田由美子(大分県・楊志館高校3年)

15

<第15回>1998年8月29日 浜離宮朝日小ホール

- 第1位 山崎亜矢(長崎県・純心女子高校3年)
- 第2位 土田朋子(秋田県立横手城南高校3年)
- 第3位 松本早苗(高知県・高知学芸高校3年)
- 第3位 松田一恵(福岡県・九州女子大学附属高校3年)
- 奨励賞 沢田沙希(岐阜県立加茂高校1年)
- 奨励賞 諏訪久美子(岡山県・倉敷翠松高校3年)
- 奨励賞 神田有香(大分県・楊志館高校2年)

16

<第16回>1999年8月28日 有楽町朝日ホール

- 第1位 山下典子(北海道・北星学園余市高校3年)
- 第2位 松井理納(富山県立上市高校1年)
- 第3位 森田多明衣(岐阜県立大垣東高校1年)
- 奨励賞 佐和田賢美(神奈川県・川崎市立川崎高校2年)
- 奨励賞 荒瀬奈穂子(長崎県立佐世保中央高校2年)
- 奨励賞 松岡修司(岡山県美作高校3年)

17

<第17回>2000年8月27日 有楽町朝日ホール

- 第1位 平川千加子(佐賀県立致遠館高校3年)
- 第2位 星野幸子(大阪府八洲学園高校3年)
- 第3位 石野麻衣子(東京都・聖心女子学院高等科1年)
- 奨励賞 川島さなえ(北海道標茶高校2年)
- 奨励賞 柳川岳也(神奈川県立高浜高校3年)
- 奨励賞 高瀬恵(東京都立大泉学園高校2年)

18

<第18回>2001年8月25日 有楽町朝日ホール

- 第1位 塩手陽一(大分県・楊志館高校3年)
- 第2位 茨里絵(静岡県立湖西高校3年)
- 第3位 藤村早生(群馬県立吾妻高校2年)
- 奨励賞 渡部翔子(神奈川県立高浜高校3年)
- 奨励賞 青木綾子(大阪府・関西創価高校2年)
- 奨励賞 古田朱美(岐阜県立加茂高校3年)

19

<第19回>2002年8月24日 有楽町朝日ホール

第1位 旭亜祐美(大分県・楊志館高校3年)
第2位 池田和廣(東京都・暁星高校3年)
第3位 川原まりあ(長崎県・純心女子高校1年)
奨励賞 小栗皆実(岐阜県立加茂高校3年)
奨励賞 永井友絵(東京都立大泉学園高校3年)
奨励賞 佐川優一(広島県立高陽東高校2年)

20

<第20回>2003年8月30日 有楽町朝日ホール

第1位 遠藤一祐(大分県・大分東明高校3年)
第2位 大平知佳(大分県・楊志館高校2年)
第3位 倉田恵利香(三重県・上野高校1年)
奨励賞 中村泰介(静岡県庵原高校3年)
奨励賞 平山由貴(滋賀県・光泉高校3年)
奨励賞 立浪寿賀子(富山県高岡西高校3年)
貞広邦彦賞 大分県・大分東明高校

21

<第21回>2004年8月28日 有楽町朝日ホール

第1位 横山里美(高知県立中芸高校3年)
第2位 副大輔(大分県・楊志館高校3年)
第3位 中島志織(佐賀県唐津東高校3年)
奨励賞 志村まどか(東京都立大泉学園高校3年)
奨励賞 小栗実香(岐阜県立加茂高校3年)

22

<第22回>2005年8月28日 有楽町朝日ホール

第1位 山本瑞穂(神奈川県立横浜南陵高校2年)
第2位 貴田みどり(東京都・下北沢成徳高校2年)
第3位 笹原香(山形県立東根工業高校3年)
奨励賞 赤坂美穂(長崎県立西彼農業高校3年)
奨励賞 山口真(奈良県立天理高校第2部4年)

23

<第23回>2006年8月26日 有楽町朝日ホール

第1位 鷺尾美佳(兵庫県・武庫川女子大学付属高校3年)
第2位 山下尊子(香川県立高松南高校3年)
第3位 竹本加奈(広島県立廿日市西高校3年)
奨励賞 菱山南帆子(東京都・和光高校2年)
奨励賞 岩野光(大分県・楊志館高校3年)

24

<第24回>2007年8月25日 有楽町朝日ホール

第1位 田窪愛(大阪府立向陽台高校3年)
第2位 浜田亜実(徳島県立鳴門第一高校3年)
第3位 鈴木公彦(長野県松本県ヶ丘高校1年)
奨励賞 今井通嗣(神奈川県立川崎高校3年)
奨励賞 居山知絵(東京都立千歳丘高校3年)

25

<第25回>2008年8月30日 有楽町朝日ホール

第1位 皆川愛(神奈川県・自修館中等教育学校4年)
第2位 富岡治美(北海道室蘭栄高校3年)
第3位 野中友貴(大分県・楊志館高校3年)
奨励賞 佐伯乙美(広島県・広島国際学院高校1年)
奨励賞 島袋アミ(愛媛県立松山南高校3年)

26

<第26回>2009年8月29日 有楽町朝日ホール

第1位 森香裕(群馬県・県立藤岡北高校2年)
第2位 山本明珠花(岡山県・岡山学芸館高校3年)
第3位 吉田晴香(岩手県・盛岡女子高校3年)
奨励賞 中村千紘(香川県立三木高校3年)
奨励賞 太田隼平(岡山県・岡山県水島工業高校2年)

27

<第27回>2010年8月28日 有楽町朝日ホール

1位 細川絢加(北海道室蘭栄高校3年)
2位 芹沢瞳(東京都立大泉桜高校2年)
3位 齊藤美香(東京都・愛国高校3年)
奨励賞 山元友起(大分県・楊志館高校3年)
奨励賞 松永奈美(神奈川県立横浜南陵高校3年)

28

<第28回>2011年8月20日 有楽町朝日ホール

第1位 山崎芽佑里(富山国際大学付属高校3年)
第2位 坂本雪乃(高知県立安芸高校3年)
第3位 岡司裕亮(滋賀県立八幡高校3年)
奨励賞 城戸翔太(東京都立大泉桜高校2年)
奨励賞 吉良健太郎(大分県・楊志館高校3年)

29

<第29回>2012年8月25日 有楽町朝日ホール

第1位 池田奈月子(香川県・坂出第一高校2年)
第2位 大野奈緒(滋賀県立八幡高校3年)
第3位 木村愛恵(兵庫県・播磨高校3年)
奨励賞 工藤友香里(宮城県立延岡青朋高校3年)
奨励賞 伊藤悦子(東京都立大泉桜高校3年)

30

<第30回>2013年8月31日 東京・第一生命ホール

第1位 山内菜帆(静岡県立沼津西高校2年)
第2位 幸田美花(東京都・恵泉女学園高校3年)
第3位 三宅花奈(兵庫県立尼崎高校3年)
奨励賞 具志堅友香(沖縄県立真和志高校3年)
奨励賞 富塚楓(神奈川県立横浜南陵高校2年)
特別賞 菅沢亮太(大分県・楊志館高校3年)

31

<第31回>2014年8月30日 有楽町朝日ホール

第1位 坂本龍成(高知県立安芸高校3年)
第2位 道見優奈(東京都立墨田川高校3年)
第3位 今野衣都美(神奈川県立横浜南陵高校2年)
奨励賞 石川真実(滋賀県立八幡高校3年)
奨励賞 切通幸太(福岡県立久留米筑水高校3年)

32

<第32回>2015年8月29日 有楽町朝日ホール

第1位 佐藤梨江(愛知県・桜花学園高校3年)
第2位 與那嶺舞寧(沖縄県立真和志高校3年)
第3位 新井ほのか(鳥取県立鳥取聾学校2年)
奨励賞 坊田悠太(広島県・広島学院高校2年)
奨励賞 廣川祐和(北海道追分高校3年)

33

<第33回>2016年8月27日 有楽町朝日ホール

第1位 井麻優香(熊本県立阿蘇中央高校2年)
第2位 松本蒼空(静岡サレジオ高校1年)
第3位 加藤珠羅(愛知県立蒲郡高校2年)
奨励賞 幸喜樹里(沖縄県・仙台育英学園高校広域通信制課程LC沖縄2年)
奨励賞 栗栖啓人(大阪府立松原高校2年)

34

<第34回>2017年8月26日 有楽町朝日ホール

第1位 長谷川幹奈(北海道石狩翔陽高校3年)
第2位 山田楓恋(神奈川県立高浜高校3年)
第3位 青木凜華(福島県立ふたば未来学園高校2年)
奨励賞 佐藤愛理(東京都立大泉桜高校3年)
奨励賞 長谷川未実(岐阜県立長良高校1年)

35

<第35回>2018年8月25日 有楽町朝日ホール

第1位 柏原力樹(福島県立田村高校3年)
第2位 大見夏鈴(岐阜県・済美高校2年)
第3位 吉村義誠(佐賀県・東明館高校2年)
奨励賞 徳永旭(高知県立安芸高校2年)
奨励賞 脇島愛奈(栃木県立壬生高校3年)

36

<第36回>2019年8月24日 有楽町朝日ホール

第1位 安江瑞紗(愛知県・桜花学園高等学校3年)
第2位 西垣佳純(熊本県立熊本聾学校高等部3年)
第3位 川越まい(愛媛県・済美高等学校3年)
奨励賞 中村桃香(神奈川県立高浜高等学校3年)
奨励賞 大野瞳子(東京都立瑞穂農芸高等学校1年)

37

<第37回>2020年9月13日 特別開催

特別賞 藤平愛(埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園3年)
特別賞 南陽菜(東京都・鷗友学園女子高等学校2年)
特別賞 星野夢愛(東京都立大泉桜高等学校3年)
特別賞 河原花奈(神奈川県立横浜南陵高等学校2年)
特別賞 上田紗瑚(愛知県・桜花学園高等学校3年)
特別賞 鈴木真奈(奈良大学附属高等学校3年)
特別賞 本田和(新潟県立燕中等教育学校5年)
特別賞 高橋真衣(愛媛県・済美高等学校2年)
特別賞 山田杏奈(福岡県立久留米筑水高等学校2年)
特別賞 吉村章(熊本県立熊本聾学校3年)

38

<第38回>2021年9月12日 特別開催

特別賞 清水詩(福島県・東日本国際大学附属昌平高等学校3年)
特別賞 松田愛未(神奈川県・日本女子大学附属高等学校2年)
特別賞 森健司(大阪府立北千里高等学校2年)
特別賞 二神優(愛媛県・済美高等学校3年)
特別賞 平嶋萌宇(福岡県立福岡高等聴覚特別支援学校3年)

第38回

全国高校生の手話による
スピーチコンテスト

手話の普及とボランティア活動推進のために

2021
Speech Contest